

平成23年 歌会始の詠進歌

▶題

「葉」※「若葉」^{わかば}「落葉」^{らくえふ}「葉緑素」^{えふりよくそ}のように「葉」の文字の入った熟語を使用してもよい。

▶詠進要領

- ①お題を詠み込んだ自作の短歌で一人一首とし、未発表のものに限る。
- ②書式は、半紙（習字用）を横長に用い、右半分にお題と短歌、左半分に郵便番号、住所、電話番号、氏名（本名、ふりがな）、生年月日、職業（なるべく具体的に）を縦書きで記入。（無職の場合は、「無職」と書き、以前に職業に就いたことがある場合は、なるべく元の職業を書くこと。なお、主婦の場合は、「主婦」と書いてもよい）
- ③用紙は半紙とし、毛筆で自書すること。ただし、海外から詠進する場合は、用紙は随意（半紙サイズ24cm×33cmの横長）とし、毛筆でなくてもよい。
- ④病気または身体障害のため毛筆で自書することができない場合は次のようにできる。
 - 代筆（墨書）による。代筆の理由、代筆者の住所と氏名を別紙に書いて、詠進歌に添えること。
 - 本人がワープロやパソコンなどを使用して印字する。この場合、これらの機器を使用した理由を別紙に書いて詠進歌に添えること。
 - 視覚障害の方は、点字で詠進してもよい

▶注意事項 次の場合は失格となる。

- 題を詠み込んでいない場合
- 短歌の定型でない場合
- 用紙が縦長の場合
- 一人で2首以上詠進した場合
- 毛筆でない場合
- すでに発表された短歌と同一または著しく類似した短歌である場合
- 歌会始の行われる以前に、新聞、雑誌、その他の出版物、年賀状などにより発表した場合
- ④に記した代筆の理由書を添えた場合を除き、同筆と認められる場合
- 住所、氏名、生年月日、職業を書いてない場合や、その他詠進要領によらない場合

▶応募期間 9月30日(木)まで（当日消印有効）

▶申し込み 〒100-8111 宮内庁（封筒に「詠進歌」と書き添える）

▶問い合わせ 郵便番号、住所、氏名を書き、返信用切手をはった封筒を添えて9月20日(月)までに、宮内庁式部職へ郵送。また、宮内庁ホームページ（<http://www.kunaicho.go.jp>）を参照のこと。

第6回蔵めぐりまちあるき
蔵めぐりスタンプラリー2010

▼日時 5月15日(土)・16日(日)午前10時～午後4時（16日は午後3時まで）※雨天決行 ▼集合場所 足袋蔵まちづくりミュージアム ▼参加費 大人200円、小学生100円※着物で参加の方は無料 ▼特典 足袋とくらしの博物館の入館およびボンネットバス乗車が無料。着物で参加の方には「MY足袋づくり体験」1千円割引券をプレゼント。▼その他 1日のみまたは2日間の参加も可。▼主催

NPO法人ぎょうだ足袋蔵ネットワーク ▼問い合わせ 同ネットワーク ☎090-8726-4962

忠次郎蔵
「そば打ち教室」初級

▼日時 5月22日(土)午後2時30分 ▼場所 忠次郎蔵 ▼内容 一人でそばが打てるようになり、卒業生は蔵内に名前が掲載されます。▼定員 18人（先着順）▼費用 1千円 ▼持ち物 三角巾、エプロン ▼主催 NPO法人忠次郎蔵 ▼その他 希望者には引き続き中級（2

回）・上級（2回）の教室もあり ▼申し込み・問い合わせ 同法人 ☎556-9988（月曜日を除く午前10時～午後3時）またはホームページ（<http://xn--6t93wuktkbiz>）

行田環境市民フォーラム
第5回公開学習会

▼日時 4月24日(土)午後1時30分～3時30分 ▼場所 視聴覚ライブラリー映像ホール（みらい）内 ▼内容 「よくわかる省エネルギー」ほかDVD上映と市の環境に対する取り組み ▼対象 市内在住・在勤・在学

の方 ▼定員 80人（先着順） ▼参加無料 ▼主催 行田環境市民フォーラム ▼申し込み・問い合わせ 中村 ☎090-1778-4062

第35回チャリティーショー
津軽三味線 民謡と舞踊の祭典

▼日時 5月9日(日)午前10時開演 ▼場所 産業文化会館 ▼入場無料 ▼主催 行田市民謡協会 ▼後援 行田市、行田市社会福祉協議会 ▼協賛 行田ケーブルテレビ株式会社 ▼問い合わせ 同協会岩崎宅 ☎556-3946

広告